

● 『道路』について質問を行いました

今回の一般質問ではテーマを『道路』に絞って質問しました。なぜ、『道路』に絞ったかと言いますと四條畷市といえば道が狭い。と言われる事が多いので市民生活に直結するこの課題を解決していくために質問を行いました。

● 国道旧170号について

土井：国道旧170号の要望というのはいつ頃から要望を行っていたのですか？

行政：森本稔元市長時代より要望を行っていた。

土井：大阪府議会の会議録によると府道の拡幅・歩道設置の要望は平成27年から前へ進み出したと思って良いですか？

行政：その通りです。

土井：本年度大阪府に予算が付いていない理由は勉強会の中で何か説明はありましたか？

行政：今年度については事業の位置付けを府と協議していく。また、概略設計の説明を受けた後、地元の説明していくが今年度予算がついていないと聞いている。

土井：橋本和昌大阪府議会議員より提供して頂いた資料によると本年度、昨年度行われた概略設計の修正及び大阪府と四條畷市との間で覚書を締結し来年度予備設計、路線測量を行うと伺っているがこのスケジュールというのは勉強会の中で本市としては説明を聞かれていますか？

行政：お示しの通りそのように聞いております。

土井：本年度四條畷市はどのような役割を担っていくのですか？

行政：地元への説明を行っていく予定です。

土井：旧国道170号の拡幅・歩道設置の要望は地域の住民の方々そして四條畷市にとっても何十年もの間要望し続けてきた案件です。是非とも市役所一丸となって頑張ってくださいようよろしくお願い申し上げます。

※その他道路について2点質問を行いました。

四條畷市議会では議会のライブ配信及び録画配信を行っています。

四條畷市議会のホームページよりご覧頂けます。

● 土井一憲前市長を相手取った四條畷中学校、四條畷西中学校の改修工事に対する裁判は、「原告の請求をいずれも棄却」、「訴訟で生じた費用は原告の負担」で決着

土井一憲前市長のもと、より良い教育環境の実現を趣旨とする上記改修工事について、平成28年7月に、無駄使いをやめ地域を大切に作る条例制定運動（代表者 横溝幸徳氏、早田有為子氏）が原告となり住民訴訟を提起

当初の主訴

土井一憲前市長に対する2.6億9,800万円の支払い請求

両校工事事業者募集の差止

原告は工事の決定過程や安価な長寿命化工事の不採用等を争点としながら、訴えの内容を幾度となく変更されるも、市は事実に基づく対応にあたり、去る令和元年6月28日に「原告の請求をいずれも棄却」、「訴訟で生じた費用は原告の負担」という判決が下されました。

これをもって一連の工事とその手続きは**適正である**と証明された事となります。また、両校の生徒や保護者からは、教育環境が飛躍的に向上し、落ち着いた空間で学び、過ごせるとの声が届いています。

